

正	高
---	---

一級  
二級  
本造

## 建築士事務所登録事項変更届

建築士事務所の登録事項に次のとおり変更があったので、  
 ■建築士法第23条の5第1  
 ■建築士法第23条の5第2 の規定により届け出ます。

令和 6年 9月 1日

神奈川県指定事務所登録機関

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会会長 殿 ※以下4項目に変更があった場合には変更後の内容で記載

神奈川県知事登録 第00000号

事務所名称 株式会社かながわアーキテクト

事務所所在地 横浜市中区不老町3-12 ○○ビル2階

株式会社かながわアーキテクト  
 開設者 代表取締役 神奈川 太郎  
 (法人の場合は名称及び代表者の役職・氏名)

変更事項		変更前		変更後		変更年月日
建築士事務所	ふりがな 名称	かながわ		かながわあーきてくと		R6.8.25
		株式会社神奈川 一級建築士事務所		株式会社かながわアーキテクト		
建築士事務所	所在地 電話番号	〒2318588 横浜市中区日本大通1		〒2310032 横浜市中区不老町3-12 ○○ビル2階		R6.8.25
		TEL	FAX	TEL	FAX	
開設者	ふりがな 開設者名 (個人氏名・法人商号)	かながわ		かながわあーきてくと		R6.8.25
		株式会社神奈川		株式会社かながわアーキテクト		
	ふりがな 法人の代表者 (役職・氏名)	かながわいちろう		かながわたろう		R6.8.25
		代表取締役 神奈川 一郎		代表取締役 神奈川 太郎		
所在地 (個人自宅・法人本店)	横浜市中区日本大通1		横浜市中区不老町3-12		R6.8.25	
法人の役員		第1号様式別添1 役員変更事項のとおり				
管理建築士	ふりがな 氏名	かんり じろう		けんちく ひふみ		R6.8.25
		管理 次郎		建築 一二美		
	建築士免許登録	登録番号 123456		登録番号 234567	登録年月日 H20.12.31	
	管理建築士講習		修了証番号 000000000000	修了年月日 H27.5.31		
所属建築士		第2号様式別添2 所属建築士変更事項のとおり				

[備考]

こちらは例示として全項目を記載しております。  
 実際の届出の際は、「**変更のあった項目**」のみ「**変更前**」「**変更後**」をご記入ください

ひとつの変更項目について、複数の変更年月日がある場合、  
 「変更年月日」欄には直近の日付のみご記入ください。

## 役員変更事項

[記入方法]

- 1 「変更前」及び「変更後」における全ての役員を記入してください。
- 2 全ての役員についてこの書類に記入しきれない場合は、備考の「有」の□の中にレをつけたうえで、この書類に記入しきれない部分を別紙に記入して添えてください。

変更前			変更後				
役名	ふりがな 氏名	退任日	役名	ふりがな 氏名	生年月日	就任日	
代表取締役	かながわ いちろう 神奈川 一郎	R4.8.31	代表取締役	かながわ たろう 神奈川 太郎	男 女	昭和43年 2月1日	R4.9.1
	さがみ いつこ 相模 五子			かながわ いちろう 神奈川 一郎			
取締役	かながわ たろう 神奈川 太郎	※1	取締役	しょうなん ななこ 湘南 七々子	男 女	昭和53年 3月3日	R4.9.1
				かながわ はちろう 神奈川 八郎			
					男 女		

**「変更前」**

すでに届出をしている変更前の役員について全員記載してください。(退任(または辞任)があった場合には、その役員を含める。)

「退任日」欄は履歴事項全部証明書に記載の「令和〇年〇月〇日退任(または辞任)」を記載してください。

取締役が新たに代表取締役になった場合は「取締役としては重任」となるため「退任日」は空欄としてください。(※1)

**「変更後」**

変更後に登記されている役員(代表権及び業務を執行する権利を持つ役員のみ。監査役は含まない。)について全員記載してください。

「就任日」欄は履歴事項全部証明書に記載の「令和〇年〇月〇日就任」を記載してください。

代表取締役を退任し、取締役になった場合は「取締役としては重任」となるため「就任日」は空欄としてください。(※2)

役員の登記変更はせず、現在の役員内で代表者の交代があった場合についても「届出時点の役員の状態」を確認させていただくために「役員変更事項」の添付をお願いいたします。(変更前・変更後の内容については重複する形になります。)

[備考] 別紙 有  無

## 所属建築士変更事項

〔記入方法〕

- 1 「現在の所属建築士」には、所属している全ての建築士（新たに所属した建築士を含む）を記入してください。
- 2 「所属を外れた建築士」には、今回、所属を外れた建築士を記入してください。
- 3 全ての所属建築士についてこの書類に記入しきれない場合は、備考の「有」の口の中に入れてください。この書類に記入しきれない部分を別紙に記入して添えてください。
- 4 二級建築士及び木造建築士については、所定の欄に登録を受けた都道府県名を記入してください。

現在の所属建築士						
ふりがな 氏名	一級建築士、 二級建築士又は 木造建築士の別	建築士 登録番号	登録を受けた 都道府県名 (二級建築士 又は木造建築 士の場合)	構造設計一級 建築士又は設 備設計一級建 築士の別	構造設計一級 建築士又は設 備設計一級建 築士証の交付 番号	新たに所属し た建築士につ いては所属し た日
けんちく ひふみ 建築 一二美	一級建築士	234567		設備設計 一級建築士	222	
いえ たてお 家 建夫	二級建築士	87654	神奈川県			R4.7.31
しょぞく みつこ 所属 三子	一級建築士	444444				R4.8.1 (※3)
せっけい しろう 設計 四郎	木造建築士	890	神奈川県			R4.6.30 (※4)
<p><b>「現在の所属建築士」には、変更後に建築士事務所業務を行う全ての建築士について記載してください。</b></p> <p>※所属建築士が一級建築士、二級建築士又は木造建築士の複数資格を保持している場合、「一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別」欄に開設者がその建築士に行わせようとする業務範囲を定め、それに適した建築士の資格を1つ記載してください。</p> <p><b>【級別変更、改姓は変更後の建築士免許が交付された後に届出を行ってください。】</b></p> <p><b>所属建築士が新たな資格を取得した場合(※3)</b></p> <p>「現在の所属建築士」欄 新たな資格内容で記載(所属した日は資格の登録日)</p> <p>「所属を外れた建築士」欄 届出済の資格内容で記載(所属を外れた日は上記の前日)</p> <p><b>所属建築士の改姓があった場合(※4)</b></p> <p>「現在の所属建築士」欄 新たな氏名で記載(所属した日は変更後の免許証の発行日)</p> <p>「所属を外れた建築士」欄 届出済の氏名で記載(所属を外れた日は上記の前日)</p>						
所属を外						
ふり 氏						所属を外れた 年月日
かんり じろう 管理 次郎	一級建築士	123456		構造設計 一級建築士	111	R4.9.1
しょぞく みつこ 所属 三子	二級建築士	33333	神奈川県			R4.7.31 (※3)
たいしん しろう 耐震 四郎	木造建築士	890	神奈川県			R4.6.29 (※4)

〔備考〕 別紙 有  無